



# 環境保全米通信



## 地産地消『環境保全米』の料理教室



### 春号

2022年3月発行



地産地消をテーマに仙台市ガス局で  
『環境保全米』料理教室が  
開催されました。

【もくじ】

1. 『環境保全米』を使った地産地消の料理教室
2. 第2回 赤とんぼセミナー
3. 2021年度田んぼの生き物調査速報



### SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



みやぎの環境保全米』は、  
SDGs の取り組みです。

環境保全米県民会議が取り組む、『みやぎの環境保全米』は国連の SDGs (持続可能な開発目標) の実践そのものです。

「環境保全米」の取り組みは 1992 年のリオデジャネイロの地球サミットをきっかけに始まっています！

アンケート  
大募集

環境保全米  
QR コード



# 1「環境保全米」を使った地産地消の料理教室!

仙台市ガス局を訪問しました。

みやぎの環境保全米県民会議では、仙台市ガス局主催の料理教室に「環境保全米」を提供して参加者にその魅力を感じてもらう活動を行っています。今回は、宮城県産食材に関する理解と地産地消の促進に取り組んでいる宮城県仙台地方振興事務所との共催で、亘理産のしらすと海苔を使った、仙台カフェ・パティシエ&調理専門学校が考案したメニューの料理教室を訪問しました。

令和4年1月14日仙台市ガス局ショールーム・ガスサロンで開催された料理教室には、大人16名が参加しました。まず、ガス調理器の説明や「環境保全米」の説明が行われ、次に、本日の講師である仙台カフェ・パティシエ&調理専門学校の調理師科学生4名と関雅人先生が、調理のデモンストレーションを行いました。本日の料理教室のメニューは以下の通りです。①釜揚げしらす入りカリカリ梅干しさっぱりチャーハン②「焼きばら海苔」と長芋の中華スープ③釜揚げしらすをたっぷり使った彩り野菜のフリッタータ サラダ添え④宮城県産米粉を使ったゆず風味のパウンドケーキ。デモンストレーションのあと、参加者は4つのグループに分かれて学生や先生に指導を受けながら実際に料理づくりを行いました。

参加者からは、「生コメを鍋で煮て調理することを初めて知った。」「若い方（専門学校生）との調理は楽



開会のあいさつ

しかった。」「しらすと炒飯の組み合わせがとても美味しかった。」などのコメントが寄せられました。「環境保全米」は、中華料理にも適していることがわかりました。

今回「しらす」と「焼きばら海苔」を提供頂いた、あらはま海苔合同会社の代表の菊地幹彦氏より、「本日使用した黒ばら（海苔）は、宮城県で初めて、朝摘みした生海苔を即時乾燥して作っており、きざみ海苔とはひと味違う食感が楽しめます。是非、亘理のお店までお買物に来て下さい。」との説明がありました。

仙台カフェ・パティシエ&調理専門学校の調理師科学科長・関雅人先生より、「1月15日（土）からホ



関雅人先生のデモンストレーション



本日のメニュー



テルモントレ仙台の朝食で、本校の学生が開発したメニューが提供されます。ホテルモントレ仙台では、他ホテルとの差別化を朝食で勝負しようとしており、学生が開発したメニューを取り上げるなど特色あるメニューを考案しています。」学生からは「食べるひとがどういう顔をして食べるか、思い浮かべてメニューを考えています。」との発言がありました。なお、仙台カフェ・パティシエ&調理専門学校は、今年4月に「仙台農業テック&カフェ・パティシエ専門学校」に校名が変更になります。これは、調理師を目指す学生が、食材のつくられる過程や現場を知らないため農業系の学科を新設するとのこと。

今回取材を通じて、料理教室の参加者に「環境保全

米」をPRすることは重要ですが、調理師学校の学生＝未来のシェフ達にも、環境保全米の魅力をもっと知ってもらいたいと感じました。

(取材記者／高橋 敦)



**4月の料理教室（締め切り 4月10日）**

4月22日（金）11:00～14:00

定員 16人

受講料 1,430円



※料理教室のご案内・ご応募は  
ガス局ホームページをチェック

<URL>

<https://www.gas.city.sendai.jp/>



## 2 第2回赤とんぼセミナー 「なぜ環境保全米をつくるのか？」

2月16日に開催された第1回赤とんぼセミナー『環境保全米と学校給食』に引き続き、2月28日に第2回赤とんぼセミナーを開催しました。今回は昨年出版された谷川彩月さん(人間環境大学助教)の『なぜ環境保全米をつくるか』について本人から、著書のねらいや「環境保全米への思いを報告していただきました。環境保全米は、そのきっかけから30年が経過しています。若い世代から見た「環境保全米」の取り組みへの見解はとても貴重なものでした。セミナーは、オンラインで行われ、会場やオンラインで30名、また、大崎市立鹿島台小学校(校長・三浦了二)の6年生70名が総合的な学習の授業の時間として参加してくれました。

報告内容は、第一に本の内容を中心に、「環境保全米」の取り組みの歴史や背景、谷川さんがJAみやぎ登米の生産部会に行ったアンケートの結果などについて、第二はカリフォルニア農家直売所(ファーマーズマーケット)の調査を基に、農産物の消費者への届け方(販売方法)について、第三は、農業と環境を守り持続させるための進め方について報告がありました。会場からは、「若い世代が「環境保全米」を丁寧に調べて、次の世代に分かりやすく、また持続するためのアイデアを提起したのは『環境保全米』に取り組んでいる生産者に大きな勇気を与えてくれ」「環境保全米の取り組みは、特別栽培米の基準に多くの宮城県の米が

近づくうえでも大きな役割を果たしている」といった声が聞かれました。鹿島台小学校の6年生からは、「私が谷川先生のお話を聞いて考えたことは、まず自分がなにげなく食べていた(学校給食)お米がこんなに手間がかかって作られていたのだなということです。先生が言っていたとおり、環境保全米をつくるには、自然を作るだけでなく、環境保全米を作っていく中での人と人の関わりもつくっているのだなと思いました。」「環境保全米は、1991年、仙台市で農薬散布した時に水道水の汚染事故が起きたのが始まりだとは思っていませんでした。もっと何か先の2001年～だと思っていたのですが、1991年、今から31年前に環境保全米運動や、2003年にはJAみやぎ登米が組織をあげて運動を始め、2007年には、JAグループ宮城の環境保全米全県運動が始まりました。そこをもっとくわしく調べてみたい。」等の感想がありました。



教室で、オンラインを使って参加



# 「環境保全米」 田んぼの生き物調査 速報！



2021年度「田んぼの生き物調査」の、結果がまとまりました。この物調査は、生産者みずからが田んぼにいる生き物を調査することで環境意識を高め、同時に、環境保全米づくりが生態系にどのような影響を与えるのかを明らかにしようとする試みです。2008年度にスタートしたこの取り組みも、今回で14回目をむかえました。途中で調査方法が変わり、回答数が減少したものの、現在でも3,000～4,000の回答数を確保しており、生き物調査の傾向を把握することが可能となっています。2021年度は回答数が8農協、3,922通で、2020年度の3,921通と

ほぼ同じでした。

13年間にわたる田んぼの生き物調査をとおり、「慣行栽培と比べて環境保全米栽培では、より環境が保全されている」ということが実証されてきました。2021年度は10種類とも環境保全米栽培の方が慣行栽培より、明らかに平均点数の高い結果となりました。2021年度の特徴としては、イナゴとトンボの調査数が減っていますが、その他の生き物の調査数に大きな変化はありませんでした。（詳細な分析は、4月以降表紙のQRコードから検索できるHPIに掲載します。）

図1 2021年の10種類の生き物の多さの平均点数

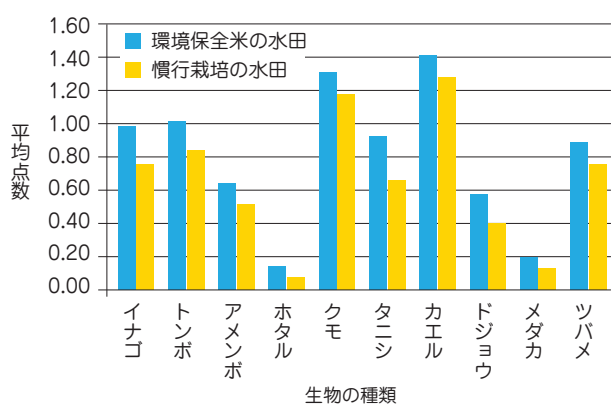
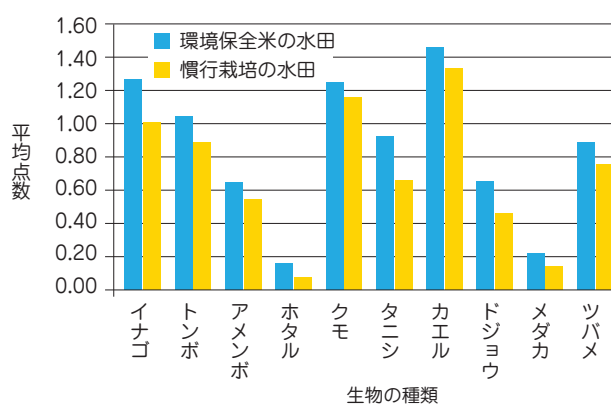


図2 参考：2020年調査の平均点数



\*平均点数：沢山いた2点、少しいた1点、いなかった0点で集計し、それぞれの回答数で割った数字です。



## ご感想をお寄せください

アンケートにご協力いただいた方の中から抽選で、環境保全米2キログラムを10名様に

**Q1 興味を持った記事は？その理由も。**

**Q2 環境保全米への疑問や取り上げてほしいテーマ等。**

【アンケート記入例】

### ●応募方法

次の項目をご記入の上、FAX・メール・郵送で応募先までお送りください。

・アンケートの回答 ・お名前 ・年齢 ・ご住所 ・電話 (FAX) 番号

いただいた回答および個人情報は当法人にて厳重に管理しプレゼントの発送、または各種情報の提供、イベントの案内以外の目的では使用いたしません。

### ●応募締切

郵送の方は **2022年4月22日消印有効**

メール・FAXの方は **2022年4月22日まで**

※抽選結果は発送をもってかえさせていただきます。

### ●応募先

**NPO 法人環境保全米ネットワーク事務局**

〒980-0011 宮城県仙台市青葉区上杉 1-16-3 JA ビル別館 5 F

TEL : 022-261-7348 FAX : 022-261-7488

E-mail : okome@epnetwork.org

URL : <http://www.epnetwork.org/>

### ●アンケートの回答

Q1 \_\_\_\_\_

Q2 \_\_\_\_\_

●名前 保全米 太郎

●年齢 40 才

●住所

〒980-0011

宮城県仙台市青葉区

上杉 1-16-3

●電話番号

022-261-7348